

北見工業大学後援会「KIT げんき会」総会

日 時：平成27年6月29日（月）  
14：30～

場 所：北見工業大学 多目的講義室

# 議 事 次 第

## 1. 開会

## 2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

## 3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 平成26年度事業報告、決算報告について

(3) 平成27年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

## 4. 閉会

北見工業大学後援会「KITげんき会」  
平成27年度役員名簿（案）

- 顧問 櫻田 真人（北見市長）  
" 高橋 信夫（北見工業大学学長）
- 会長 永田 正記（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 越膳 良臣（北見工業大学同窓会顧問）  
" 倉本 登（北見鉄工協同組合理事長）  
" 西川 孝範（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）  
" 古屋 聖兒（北見医師会会長）  
" 戸田 龍一（北見商工会議所中小企業委員会委員長）
- 常務理事 吉田 孝（北見工業大学理事・副学長）
- 理事 太布 康洋（北見信用金庫理事長）  
" 中川 秀世（北見ぼらんち会会長）  
" 石澤 徳司（北見地区電気工事業協同組合理事長）  
" 山田 剛（北見歯科医師团团長）  
" 久島 和俊（北見建設業協会会長）  
" 小泉 勝裕（北見管工事事業協同組合代表理事）  
" 山田 義久（協同組合日専連北見代表理事）  
" 河合 昭徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）  
" 辻 好治（北見観光協会会長）  
" 佐々木 一明（協同組合北見総合卸センター理事長）  
" 佐々木 敏行（北見舗装協会会長）  
" 石川 裕也（北見金融協会会長）  
" 清水 大（北見薬剤師会会長）  
" 橘 邦彦（北見工業大学同窓会顧問）  
" 富山 佳男（北見測量設計協会会長）  
" 永田 裕一（北見物産協会会長）  
" 西川 治彦（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）  
" 海田 有一（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長、  
北見工業団地会会長）  
" 真柳 正裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）
- 監事 小澤 實之郎（北見商工会議所監事）  
" 富田 剛夫（北見工業大学同窓会北見支部支部長）

（順不同：敬称略）

# 北見工業大学後援会 KITげんき会

平成26年度 事業報告書

## 目 次

1	学生に対する支援	
(1)	語学研修プログラムへの参加旅費の助成	
	台湾	1
	オーストラリア	12
	ドイツ	17
(2)	インターナショナルCアワー開催の助成	29
(3)	留学生交流イベントの助成	30
(4)	図書館配架用学生向け参考図書購入の助成	32
2	大学広報等への支援	
	女満別空港広告看板掲出料の助成	34
3	北見ぼんちまつり参加者への助成	35

平成26年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（中華民国・台湾）

2 事業概要

(1) 研修先

中国医薬大学北港キャンパス

(2) 研修期間

2015年2月28日（土）～3月23日（月）

(3) 助成対象・金額

3万円

### 3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	中垣 颯
<p>報告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は日本にいた時よりは中国語ができるようになったと思う。台湾に来る前は大学の第二外国語はドイツ語を受講しており、中国語の勉強をあまりしていなかったため今回の研修で簡単な自己紹介や私がどこに行きたいのか何を食べたいのかを言えるようになった事と日本にいた時より中国語を聞けるようになり、親しみをが持てるようになったのは私の成果だと思う。また、車やスクーターのほとんどが日本車であったことに驚かされた。そのことより日本のモノ作りは信頼されているのだと思い海外での日本の良さを感じることができた。また台湾の学生と一緒に行動をするときはほとんど英語で会話をして、台湾の学生の英語力の高さを見ることができた。たまに台湾の学生で日本語も話すことができる学生がいて日本の学生より努力を怠らないまじめな人物が多いのだと思った。</p>
<p>謝辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>今回、台湾研修に助成していただきありがとうございました。</p> <p>助成金のおかげですばらしい体験をすることができましたありがとうございます。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	谷本 純香
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回、中国語を3週間北港のキャンパスで学びました。授業はゲームを交えたものや、歌を歌ったりするもの、漢方や、水墨画の授業がありとても面白いものばかりでした。中国語を学んでいくうちに日本ではあまり見ない漢字や、日本とはぜんぜん読み方が違う漢字などがたくさんあり、中国語に対して興味を持ちました。また授業のほかにも、チューターさんと会話をしたりすることができたので、いろいろな中国語をどんどん覚えていくことができました。そこで覚えた単語などを使って、英語が通じない食堂のおじちゃんにご飯を注文できたときはとてもうれしく思いました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>3万円ありがとうございます。海外へ行くことは費用がかかるので補助してもらえてとても助かりました。今回の研修で中国語のほかに、たくさんの事を経験することができ、この研修に参加してよかったと思います。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	水島 弘人
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今回の派遣において学習した内容は簡単な語句や文章のみで日常会話レベルにも達してはいないと思うが、会話の中から自分の知っている単語やフレーズを聞き取りおおむね把握することはできるようになった。買い物などの際の金銭の聞き取りは非常に重要だと思ったので、台湾の人に一通りのやりとりを教えてもらった。日常でよく目にする単語は覚えることができた。おたがいに英語でコミュニケーションをとっていたので、少し英語力も向上したと思う。
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	今回の研修に当たって補助金を支給していただき大変ありがとうございました。補助金なしでは研修にはこられません。今回得た経験もすべて助成していただいたおかげです。ありがとうございます。



所属専攻・学年	情報システム工学科・2年
氏 名	岡田 勉
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>約3週間の語学研修では簡単な文章を使える程度にしか上達できなかったが導入としてはよい経験となった。また、一方的に話して伝えることができるというだけで相手の言っていることを聞き取るのはとても難しく日本へ帰ってからリスニングをたくさんしなければ語学スキルは上達しないと思った。中国語の語学研修として台湾へ来たがうまくやり取りできないときは英語を使って対処していた。そのため中国語だけでなく英語も上達させていけば海外で困ったときに役に立つと思った。台湾の学生は英語や日本語の能力に長けている人も多く将来的に海外で仕事をしたいと考えているのならばもっと学ばなければいけないと感じた。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は語学研修プログラムの参加旅費を助成していただきありがとうございました。私はこの語学研修を通してたくさんのお話を学びました。たとえば語学能力の上達や文化の違いを知ることができ海外でしかできないすばらしい経験をしました。この経験が学業への意欲と経験したことのないものに対する好奇心となって今後活かしていきたいと思っております。</p>

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	鈴木 智也
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>一日3時間の中国語の講義に加え、観光しながらの中国語の会話の練習により日本で学んでいた時より速いスピードで語学力が上昇した。また、トイレやレストランに対して衛生管理の意識の違い、食の違い、勉学への意識の違いなど数多くの日本と台湾の文化の違いに触れることにより異文化への理解力が深まった。それに加え、まだ完全に習得していない言語を使う国に行ったため身振り手振りも加えてコミュニケーションを取っていた。そのことにより、言葉以外の方法でいかにして自分の気持ちを伝えるかなどのコミュニケーション能力も上昇している。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>毎日が未知の経験で留学をして良かったと感じています。トイレの使用の違いなどで一時期は日本が恋しくもなりましたが、最後はもっと台湾に留学したいという気持ちでいっぱいでした。このような体験をできたのも、援助をしてくださったKITげんき会会員様のおかげです。ありがとうございました。非常に充実した留学でした。</p>

所属専攻・学年	機会社会環境系・1年
氏名	千葉 俊之
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	台湾に来る前にも違う言語の人と交流を多くしていたのですが、ほとんど日本語でしか会話が出来ませんでした。しかし台湾に来て台湾の学生と話すとき、日本語は使えません。そういう環境で台湾の学生と交流することが自分には出来るのか非常に心配でした。しかし知っている英語や中国語だけでも交流を深められることがわかりました。このことはとても自分の自身になりました。また、英語や中国語を使って自分の意思をだいたい伝えることが出来るようになりました。台湾に来る前は英語や中国語を学ぶ機会は多くあったのですが、実際に自分が使うことはほとんどありませんでした。この語学研修では英語か中国語を使わないといけない場面が多く、最初はほとんど相手に伝えられなかったけど、使えば使うほど英語や中国語ができるようになっていっているのが実感できました。
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	この助成により、一番心配していたお金のことが解決することができました。海外に行くのにとっても安く行けて多くのことを経験することができました。この与えてくれた経験をきっと将来に生かしていこうと思います。本当にありがとうございました。

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	秦 芳暉
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>中国語は大学で履修していなかったため、まったく知識がありませんでした。しかしこの三週間で単語の知識が増え、基本的な文法も少しだけ覚えたことで、学生が話している日常会話のわかる部分も出てきました。なぜ、わかるようになったかは、講義では先生が中国語と英語を使って中国語を教えてくれるので、中国語で理解できたかできなかったかを伝えることが、練習になっていたと思います。また、講義で教わったことをすぐに現地の学生に使う発音や使い方を教わることができたのが、大きな要因だと思います。この三週間で少しは中国語を知ることができました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>今回助成していただきありがとうございました。金銭的に余裕があるわけではないので、海外に留学すること、行くことは難しかったのですが、助成していただいて行くことと決断することができました。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	高橋 一生
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>大学ではドイツ語を専攻していたのでまったく中国語がわからないまま今回の留学が始まりました。最初は中国語の発音で苦戦し心が折れそうになりましたが、中国薬科大の先生や生徒が丁寧に教えてくれたのでなんとかなりました。日本人だけで北港の街に行ってお店で料理を中国語で注文して通じたときや、店員が言っていることが理解できたときはとても嬉しかったです。最終的には中国語で日常会話程度話せるようになりました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>留学は費用がとてもかかるイメージがあったので、今回の留学は悩んでいたのですが、補助金が出ると聞いて行くことを決意しました。今回の留学で新たなことを多く学べたので有意義な時間をすごすことができました。ありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	網野 圭
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>自分は第二ヶ国語をドイツ語にしていたおり、今回中国語を習うのは初めてだったので少し不安だったが、先生も優しく教えてくれ、友達とも助け合いながらなんとか中国語と英語だけの授業にもついていけた。三週間中国語の勉強だけをみっちりやるとそれなりに中国語が分かるようになってきて楽しかった。台湾人同士が話している中にも台湾に来た当時は何も分からなかったものが三週間中国語を教わった今は言葉の端々に知っている単語が出てきて、それが分かると嬉しい気持ちになってくる。中国語を習うと文法が英語と似ていたため、少し覚えやすかった。しかし自分は単語を覚えるのが苦手なため、これからは単語を覚えることに重点を置いていきたいと思った。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度はKITげんき会の皆さんのおかげで私たちは少ない負担で留学をすることができました。去年と比べても破格の金額で驚きました。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境マテリアル系・1年
氏名	水野 利華
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回初めて海外に行って現地の人達と交流した。台湾の学生は日本人よりも英語に慣れ親しんでいて、主な会話は英語だった。そのため、英語の会話能力は日本に居るときよりも上がったと思う。中国語の授業は簡単な挨拶や台湾の食べ物の名前、日常に必要な単語は少し覚えたと思う。しかし、今回の留学は短期であったため、台湾人と中国語でコミュニケーションを取るまでには行かなかった。また日本での事前研修の成果を出せなかったのが残念である。次回また外国に行く機会があったらもっと事前に現地語を覚えて使えるようにしておくべきだと思った。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>今回の助成を受けられた事によって、経済的な負担が減り、快適な海外生活を送ることが出来ました。この助成プログラムを今後も続けて欲しいです。今回はありがとうございました。</p>

平成26年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（オーストラリア）

2 事業概要

(1) 研修先

クイーンズランド大学

(2) 研修期間

2014年8月23日（土）～9月28日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円



### 3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏名	中垣 颯
<p>報告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は8月23日から約5週間オーストラリアで英語の語学研修をしてきました。英語が上手ではない私でも、この5週間での語学研修で、簡単な会話や、買い物、レストランでの食事をすることが出来ることを実感しました。</p> <p>平日は学校に行き、そこで英語の勉強をして、休日はビーチに行ったり、動物園でコアラやカンガルーを見たり、街の中を散策したりして、日本にはない西洋らしさや、モノの大きさを体験してきました。</p> <p>そこで、日本とオーストラリアの文化の違いも直に体験でき、日本のよさ、オーストラリアのよさを知ることが出来たと思いました。</p> <p>今回の5週間の語学研修で、研修を受ける前よりも英語に興味を抱くようになり、かつ英語を勉強してもっと海外に行ってみたいと思えるようになりました。この語学研修で、様々な国との文化の違いや考え方の違いに気づき、それぞれの良さを知ることができました。とても貴重な5週間になりました。</p>
<p>謝辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>オーストラリアの語学研修のために支援していただき、ありがとうございます。</p> <p>この語学研修で、日本にいただけでは体験できなかった多くのことを体験することができました。</p> <p>ありがとうございます。</p>

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	津川 渚奈於
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回の語学研修ではホームステイが一番の不安要素でした。しかし、ホストファミリーが優しく、丁寧に会話してくれました。また、授業は英語のみで行われました。先生、友達にも恵まれとても楽しく授業に参加でき、学習に励めました。その結果、英語の聞き取りが上達できた様に感じます。英語圏で生活していける自信も少し付きましたし、なにより生活したいと強く思うようになりました。</p> <p>もちろん、学習のみならず積極的に課外活動もしました。放課後は友達とスポーツで交流、週末は街にでてみて日本との違いを感じる事が出来ました。迷子になったときは現地の人に助けられるなど、現地の人々の優しさに触れることも出来ました。</p> <p>この5週間はこれ以上なく充実させる事が出来、忘れられない物となりました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度は、オーストラリア語学研修のために資金援助をしてくださり、ありがとうございました。</p> <p>オーストラリアでの5週間で、多くのことを体験し、学び、吸収出来たと感じています。</p>

所属専攻・学年	電気電子工学科・2年
氏名	大西 輝弥
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回の語学研修で私は英語を学ぶことへの意欲が向上しました。5週間という限られた時間の中で、他国からの生徒との交流や、ホームステイ先での生活を経て、自分の中で「この英語は通じない」、「この発音では伝わらない」など、現地でしか体験できない英語の難しさに触れることができました。分からない単語や表現など、日を重ねるごとに少しずつ減っていき、身に着けることができました。また、まだまだ一人で生活できるまでには程遠いということに気が付くことができ、学習意欲向上への良いキッカケとなりました。</p> <p>また、私はスポーツを通して多くの友達を作ることができました。放課後にクラスの友達や、友達の紹介で知り合った他国の友達とスポーツをする中で、コミュニケーションをとることで自然と仲良くなりましたし、大学内での交流も増えました。</p> <p>この語学研修で、様々な国との文化の違いや考え方の違いに気づき、それぞれの良さを知ることができました。とても貴重な5週間になりました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、オーストラリアの語学研修のための資金援助をしていただき、ありがとうございました。現地でしか体験できない貴重な様々な体験をすることができました。</p>

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	内海 竜之介
<p>報告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今年のオーストラリアでの5週間に及ぶホームステイと、クイーンズランド大学での英語のみの授業を受けてきました。そのため大学へ行っても帰ってきても常に英語を話さなければならず、そのおかげでかなり英語に慣れることが出来ました。</p> <p>いろいろなことがあった中で自分がオーストラリアで一番感じたことは、自分の英語のスキルが圧倒的に足りていないということです。向うに行く前は自分の中で英語はある程度出来ている自信がありました。</p> <p>クラスの先生やホストファミリーの人たちはまだゆっくり話してくれたのでまだ聞き取れたのですが、その他の人、例えばレストランの店員の人やタクシーやバスの運転手の人など、地元の人々の英語はほとんど聞き取ることが出来ませんでした。簡単な英語であってもなんとやっているのかがわからなかったり、自分の伝えたいことがうまく伝えられなかったりしたのがとても悔しかったです。この悔しい気持ちが今回の語学演習に行った一番の収穫だと思います。</p>
<p>謝辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度オーストラリア語学演習において、助成金を出していただき心より感謝します。この助成金のおかげで向うでの活動がより活発になりました。</p>

平成26年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2014年8月9日（土）～8月31日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

### 3 助成対象者報告

所属専攻・学年	電気電子工学専攻・1年
氏名	野崎 麻衣
<p>報告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>私は本研修により、主に以下の3つを学びました。</p> <p>1つ目は積極的にコミュニケーションを行うことです。はっきりと自分の思っていることを伝えることがいかに大事か、海外の方とお話しをするときに特に強く感じました。</p> <p>2つ目はフライブルクの町づくりについてです。環境ツアーに参加し、フライブルクのような環境に優しく、人が集まる町づくりをしたいと思います。</p> <p>3つ目は英語を用いたコミュニケーションの重要性です。現代では海外の方と一緒に仕事をすること、交流をもつことが求められているので、もっと英語が話せるようになりたいと思いました。また、そういった機会が学内にも増えるといいと思います。</p> <p>特に以上の3つは自分の今後にも大きく関わる良い体験でした。</p> <p>他にもノイッシュヴァンシュタイン城やメイアスブルクやスイスのバーゼル、フランスのストラスブールを自分で見て歩いて沢山の異文化を体験し、世界の広さを体感しました。</p>
<p>謝辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度はドイツ語学研修のために資金の援助をしてくださって、ありがとうございました。</p> <p>本研究を通して得たことを今後も役立てていきます。</p>

所属専攻・学年	電気電子工学科・3年
氏名	前田 祥徳
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回の語学研修は私にとって初めての語学研修でした。ドイツに着く前は、コミュニケーションを上手くとれるかとても不安でした。しかし、大学で授業を受けたり、先生方と会話をしていくうちに少しずつですが、相手の会話を聞き取れるようになり、相手の意思を理解できるようになりました。自分が話せるドイツ語はあいさつ等日常会話や買い物や食事をするときに使われるもの程度しか身に付けることができませんでした。が、この3週間、海外でも生活できたので、ドイツ語の対する自信を持つことが出来ました。下宿先の方たちとも友人関係を築くことができ、わからないこと等を聞いたときは丁寧に教えてくださりました。また、同じクラスの方たちとも交流を深めることが出来ました。世界遺産であるノイシュヴァンシュタイン城を見学したり、ドイツ以外にフランスやスイスにも行き、日本にはない西洋独自の雰囲気や景色を見て感じる事が出来ました。今回の語学研修で、日本と海外の生活や文化の違いを学び、それぞれの国の良さを感じる事が出来ました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、ドイツ語語学研修のために資金援助していただき、誠にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	バイオ環境化学科・3年
氏名	猪狩 琴音
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回のドイツ語研修では想像していた以上の成果を得ることが出来ました。授業を通してドイツ語の上達を目指したのはもちろんのこと、日本にいるときはあまり自信のなかった英会話も実際現地へ行ってみると思っていたよりも意思の疎通を図ることは難しくなく、そういった面で自分の語学力に自信を持つきっかけとなりました。</p> <p>更に世界遺産であるノイシュヴァンシュタイン城やフライブルク市街はもちろんフランス、スイスまで足を伸ばすこともでき日本とは違う空気に触れる一方で、日常生活では日々些細な文化や習慣の違いに気付かされることも多くあり、その度に海外の良さを知ると同時に改めて母国の素晴らしさに気付くことができました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度の語学研修プログラムにおいて資金援助をいただけたこと、心より感謝いたします。ドイツでは、日本には経験できないようなことを数多く体験することができました。これもひとえに、KIT げんき会の皆様のご支援の賜物と思い、心よりお礼を申し上げます。</p>



所属専攻・学年	機械工学科・2年
氏 名	工藤 康平
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回の語学研修が欧州に行くのが初めてだった私は、最初は少し不安でした。現地に着いてからの数日間はろくにドイツ語を聞き取ることもままならず、英語に頼る場面もありました。</p> <p>現地でドイツ語の授業と日常生活を送ることで日常会話や買い物の際の注文などはできるようになり、三週間で全く知らない言語の国でも生活できるということを学びました。また、同じクラスの外国人の人々には授業でわからなかった所を教えてもらい、外国人の友人が多くできるなど日本では殆ど経験できないようなこともたくさん経験することができました。世界遺産である、ノイシュバンシュタイン城の見学や、ドイツだけでなく、フランス、スイスへも観光へ行くことができました。日本にはない西洋独特な街並みや、雰囲気を経験できました。最後に、この語学研修で海外と日本との文化の違いを感じ、さらにその国のよさと日本のよさについて考えることができ、多くのことを学ぶことが出来ました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度のドイツ語学研修がこれほど充実していて、有意義に過ごせたのは支援していただいた KIT げんき会会員の皆様のご協力のおかげだと思っています。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	電気電子工学科・2年
氏名	栗山 菜摘
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>3週間の語学研修を終えて、自身の英語やドイツ語のコミュニケーションをとる為の技術が致命的に低いということが分かりました。日本の外国語の講義とドイツの講義では力を入れているところが全く異なり、手をただ動かすのではなく、リスニング・スピーキングで五感を大いに使うこと、学んだことをすぐに試してみる事が出来る事が上達に大いに繋がったと思えました。生活面では、初めての海外であったので2週間ほどは1人で行動できませんでした。しかし三週目では1人で行動したいという気持ちになり街中を歩けるようになりました。日本とは全く違う空間にいて自身の凝り固まった、外国は怖いという世界観が変わったと思えます。店の方や同居人が毎回笑顔で挨拶してくれるのが大きい要因でした。この語学研修で、コミュニケーションが取れないことの辛さを痛感し悔しい思いをした経験、海外に出る事の抵抗感を和らげる事ができた事が大きな収穫です。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度のドイツ語学研修に参加を決意することが出来たのも、KITげんき会会員の皆様のご協力のおかげです。私が多くの経験を得る機会を作る手助けをしていただき誠にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報システム工学科・2年
氏名	野村 咲生子
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>私は大学の1年次に初めてドイツ語という学問に触れ、ドイツの文化や歴史に大変興味を持ちました。外国での生活は初めてではなかったのですが、英語のように長い間学んできた語学ではないので、初めのうちはとても不安でした。しかし、ドイツで毎日授業を受け、生活をしているうちに、買い物の時の会話や会話中に出てくる単語などが少しずつ聞き取れるようになりました。</p> <p>興味の対象であった歴史と文化についても、世界遺産であるノイシュバン・シュタイン城の見学や、スイス、フランスへの観光を通して学ぶ機会があり、ドイツ人と日本人の考え方の違いや、歴史的背景を感じる事が出来ました。</p> <p>平日の授業はもちろん、休日でも街に出ればたくさんのドイツ人と話す機会があり、大変充実した語学研修になりました。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>今回はドイツ語研修のための資金援助をしていただき、誠にありがとうございました。皆様のおかげで、非常に多くの貴重な経験をする事が出来ました。心より感謝申し上げます。</p>

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	福元 涼太
<p>報告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回の語学研修が初めての海外だった私は、最初とても不安が大きかったです。</p> <p>しかし、学校での授業を受け、日々ドイツ語を聞いて約3週間生活をする中で徐々に会話を聞き取ることができるようになりました。また、簡単な日常会話を使えるようになり、うれしかったです。また、世界遺産である、ノイシュバンシュタイン城の見学に行くこともでき、とても貴重な体験ができました。</p> <p>この語学研修で、海外と日本との文化の違いを感じ、さらにその国のよさ、日本のよさについて考えることができ、この3週間で多くのことを学ぶことが出来ました。</p>
<p>謝辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度は、このドイツの語学研修のための資金援助をしてくださり、誠にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	原 優也
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>私は夏季休業中の8月9日～8月31日までフライブルクへ留学しました。平日の午前中は日本語を話せるドイツ人の先生から数字や文法、日常会話、時計の読み方など、さまざまなことを授業を通して教わりました。午後は街や駅、協会、デパート、市場などへ行きました。初めのころは言葉が全く通じず、先生がいないとろくに買い物やコミュニケーションが出来なかったものの、最後に少しはドイツ人の方やほかの留学生とコミュニケーションを取ることが出来ました。フライブルクにある教会の中を見学させてもらったりしました。シュトゥットガルトにある、メルセデスミュージアムやポルシェミュージアムへいきました。メルセデスミュージアムやポルシェミュージアムではその会社の歴史や理念、車の歴史、エピソード、目標にしていた数値、今の車や次世代の車などを知ることができました。</p> <p>この短期間ではドイツ語を覚えることはできなかったですがこれから勉強してドイツ語を覚えたいと思いました。</p>
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度はドイツ語学研修のために資金を援助していただき誠にありがとうございました。KITげんき会会員の皆様のおかげで非常に有意義な学習をすることができました。</p>

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	桜井 翔
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>私は今回のドイツ語学研修で初めて海外に行きました。大学の講義でドイツ語は学び始めていましたが、会話するほどの力は身につけていなかったことから不安も多くありました。しかし、ドイツで授業をしていくにつれて少しずつ会話ができるようになり、買い物などを楽しめるようになりました。現地の方々も親切な人が多く、おかしな文法になってしまっても理解しようとしてくれたため、過ごしにくいという感覚はありませんでした。またドイツの街並みの美しさや、広大な風景、日本にはないような西洋の城や伝統的な文化などは想像していたもの以上のスケールで、実際に現地に行かなければ経験できないようなことを経験することができました。この語学研修で私の世界観は大きく変わりました。海外より身近なものに感じるできるようになり、様々な国へ行って実際に見てまわりたいと感じるようになりました。私はこの三週間でとても多くのことを経験することができました。</p>
謝 辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>この度はドイツ語学研修のための資金援助をしてくださり、ありがとうございました。このような貴重な体験をすることができたのは、KIT げんき会の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	山本 雄太郎
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回の留学は自分にとってとても魅力的な体験となりました。ドイツへ留学しようそう決めたとき私の中では観光という意味合いが強かったです。しかし、実際にドイツに留学してみて多くのことを学びました。日本には体験できないような、街、人、味など。その中でも一番影響を受けたのは英語の必要性についてです。他国の学生と交流してみて彼らの英語スキルに驚かされました。彼らはどの国の人に限らず皆、英語でコミュニケーションをとっていたのです。しゃべることのできない自分は丁寧に繰り返し言ってくれる人を見るたびに悔しく、申し訳ない、という気持ちになりました。そのため私は絶対に英語を話せるようになろうと思うようになり、帰国後も勉強を続けています。この留学は私にこれからの目標を与えてくれました。ドイツ語を丁寧に教えてくれた先生や優しく接してくれた友人に報いるためにも絶対に英語とドイツ語を話せるようになります。</p>
謝辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞	<p>ドイツ留学をするにあたりKIT元気会様には多額の金銭面の援助をしていただき誠にありがとうございました。</p>

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	板坂 紀幸
<p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p>	<p>今回の語学研修が初めての海外だった私は最初とても不安が大きかったです。けれど、日々ドイツ語を聞いて3週間生活をする事で少し聞き取れることができるようになりました。買い物、食事や観光のときに使えるある程度のドイツ語しか身に着けることができなかったが、この3週間で、海外でも生活できる自信をつけることができました。また、同じクラスの子とともにだちになることができ、さらに海外の友人も何人も作ることができました。日本では絶対に体験できないようなこともたくさん経験することができました。世界遺産である、ノインシュワンスタイン城の見学やドイツだけではなく、フランス、スイス、へ行くことができました。日本にない西洋独特な街並みや、その雰囲気を感じることができました。この語学研修で、海外と日本との文化の違いを感じ、さらにその国のよさ、日本のよさについて考えることができ、この3週間で多くのことを学ぶことができました。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>この度はこのドイツの語学研修のための資金援助をしてくださり誠にありがとうございます。</p>



## 1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

## 2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

毎回異なったプログラムを通して、留学生が日本の伝統芸能や四季折々の祝い事やしきたりに触れ、日本文化への理解を深めること、また、日本人参加者が異文化について学ぶことも目的としている。

## 3 開催報告

2014年	4月24日	ゲームで友達の輪を広げよう
2014年	5月29日	竹とんぼ作り
2014年	6月26日	ポーランド・クラクフ留学体験談
2014年	7月28日	流しそうめん
2014年	10月30日	アラスカ・フェアバンクス留学体験談
2014年	12月 2日	折り紙
2015年	1月15日	餅つき
2015年	2月20日	インターナショナルコンサート

## 4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、全8回の開催を盛況のうちに無事終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、手作りのお菓子を含めた茶菓と飲み物を用意させていただきました。そのおかげで、温もり感のある場を提供できただけでなく、留学生と市民、一般学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 1 実施事業名

留学生交流イベントの助成

## 2 事業の概要

外国人留学生と地域の各種団体等との国際交流の推進を図るため、留学生並びに教職員、北見市民等との交流会（卒業パーティー）を行う。

## 3 参加者の様子

（写真を交えて 1 ページ程度で作成）

日ごろから本学の国際交流にご協力いただいている方々をお招きし、学内外から 160 名を超える方々にご参加いただき、交流を深めました。

高橋学長からの挨拶に続いて、卒業生を代表して、ベトナム人留学生のファム スアンクエンさんから、留学生活での楽しかった思い出や、お世話になった方々への感謝の言葉などのスピーチがありました。



交流会では、卒業・修了する留学生のスライドの上映が行われました。各自が作成したスライドに合わせて、北見での思い出を語ってくれました。



更にアトラクションでは、中国人留学生、日本人グループによる歌やアカペラ、サウジアラビアの伝統舞踊などが行われ、会場を大いに盛り上げてくれました。



参加した留学生は、いつもお世話になっている方々との思い出話や記念撮影に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中で閉会となりました。



#### 4 謝辞

留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。このように盛大な交流会ができたのも、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、手作りのお菓子を含めた茶菓と飲み物、そして食事を用意させていただきました。また、各関係者への案内状や、当日配付しました冊子と集合写真の作成にも役立てさせていただきました。おかげさまをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 平成26年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 情報図書課

### 1 実施事業名

図書館配架用学生向け参考図書購入の助成

### 2 事業の概要

図書館に配架されている参考図書で新版が出版されているもの、利用が見込まれる新規の参考図書を情報図書課内で選定し購入した。

### 3 購入図書一覧

別紙のとおり

### 4 謝辞

皆様からのご厚志により、比較的高価な参考図書を購入することができました。これらの資料を提供することで、本学の教育や学生の学習支援のため役立たせていただいております。

この場をお借りし感謝申し上げます。

なお、北見工業大学では、地域住民の方にも大学図書館をご利用いただけるよう、施設開放や専門書以外の資料の充実も行っております。

今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域と一体になれるよう邁進していきますので、応援のほどよろしく願いいたします。

書名	金額(税込)
省エネルギー総覧 2015	34,992
新版 雪氷辞典	3,326
元素大百科事典 (新装版)	15,606
ストレス百科事典—精神医学的・臨床心理的・社会心理的・社会経済的影響	17,107
有斐閣法律用語辞典 (第4版)	4,656
科学技術英語表現辞典 (第3版)	13,770
現代工業英語辞典—科学技術の複合語を前置き後置きで検索できる	4,561
Excel関数全事典—2013/2010/2007対応	1,311
図解 まるわかり時事用語—世界と日本の最新ニュースが一目でわかる! (2015→2016年版)	950
環境用語辞典: ハンディー版 (第3版)	3,326
ショートカットキー全事典—瞬で差がつくPC活用術	950
合計	100,555

(555円については図書館経費で支出)

## 平成26年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課

### 1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

### 2 事業の概要

女満別空港2階出発ロビーへ広告看板の掲出

### 3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成17年4月から継続して掲出しています。平成25年3月に一新したデザインは、本学ロゴマークの周知とポップで親しみやすいもので、幾分堅い工学のイメージを払拭できればとの願いを込めています。



### 4 謝辞

本事業に関し、平成17年度から継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

北見ぼんちまつり参加者への助成

2 事業の概要

北見市の夏祭りイベント「北見ぼんちまつり舞踊パレード」に参加し、本学の存在をアピールするとともに、学生主体によるチームを編成し地域へ貢献するもの。

3 参加者の様子



柴野副学長を団長とする北見工大チーム



北見サンバで盛り上がる北見工大チーム

4 謝辞

本事業に関し、平成25年度から継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域との交流事業に積極的に参加し、学生の元気で地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成26年度決算書

収入の部

項 目	予 算	決 算	備 考
会 費	2,400,000	2,186,000 円	個人会員(43件) 256,000 円 法人会員(108件) 1,930,000
寄 附 金 等	1,000,000	1,305,000 円	同窓会会員からの寄附(127件) 1,305,000
雑 収 入	500	10,939 円 (内訳) 309 10,630	預金利息 組戻代金・振込手数料調整
前年度からの繰越	1,669,196	1,669,196 円	
合 計	5,069,696	5,171,135 円	

支出の部

項 目	予 算	決 算	備 考
後援会運営費	240,000	129,860 円	
通 信 費	(内訳) 200,000	(内訳) 125,242	印刷物郵送料、返信用葉書
事 務 費	20,000	4,618	事務諸雑費、振込手数料
印 刷 費	20,000	0	
大学援助費	3,026,000	2,134,017 円	
学生に対する支援	(内訳) 1,710,000	(内訳) 1,418,017	語学研修プログラム参加旅費の助成 1,050,000 30,000円×10人=300,000円(台湾) 50,000円×4人=200,000円(オーストラリア) 50,000円×11人=550,000円(ドイツ) インターナショナルCアワー開催に伴う助成 106,897 留学生交流イベントの開催に対する助成 161,120 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000
大学広報等への支援	1,216,000	615,600	女満別空港広告看板掲出料の助成 615,600
北見ぼんちまつり参加への支援	100,000	100,400	北見ぼんちまつり参加への助成 100,400
予 備 費	1,803,696	0 円	
支 出 計		2,263,877	
次年度繰越金		2,907,258 円	
合 計	5,069,696	5,171,135 円	




# 監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、平成26年度北見工業大学後援会収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。

平成27年6月17日

監 事 小澤 實之郎 

監 事 富田 剛夫 

# 北見工業大学後援会「KITげんき会」

## 平成27年度事業計画書（案）

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	年1回開催
2 支援事業	<p>1) 学生に対する支援</p> <p>語学研修プログラム参加旅費の助成</p> <p>短期交流研修（派遣）の助成</p> <p>地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成</p> <p>留学生派遣の助成</p> <p>インターナショナルCアワーの助成</p> <p>留学生交流イベントの助成</p> <p>図書館配架用学生向け参考図書購入の助成</p> <p>2) 大学広報等への支援</p> <p>女満別空港広告看板掲出料の助成</p> <p>屈斜路研修所優待利用の助成</p> <p>3) 北見ぼんちまつり参加への支援</p> <p>ぼんちまつり参加者への助成</p>

**北見工業大学後援会「KITげんき会」**  
**平成27年度予算書(案)**

**収入の部**

項 目	予 算	備 考
会 費	2,200,000 円	個人会員(100口 × 3,000円) 300,000 円
		法人会員(190口 × 10,000円) 1,900,000
寄 附 金 等	1,000,000 円	同窓会会員からの寄附 1,000,000
雑 収 入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	2,907,258 円	
合 計	6,107,758 円	

**支出の部**

項 目	予 算	備 考
後援会運営費	320,000 円	円
通 信 費	(内訳) 200,000	印刷物郵送料、返信用葉書 200,000
事 務 費	20,000	事務諸雑費 20,000
印 刷 費	100,000	払込取扱票印刷ほか 100,000
大 学 援 助 費	3,358,200 円	
学生に対する支援	(内訳) 750,000	語学研修プログラム参加旅費の助成 750,000 50,000円×5人=250,000円(オーストラリア) 30,000円×5人=150,000円(中国) 50,000円×7人=350,000円(ドイツ)
	500,000	短期交流研修(派遣)の助成 500,000 50,000円×10人=500,000円
	300,000	地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 300,000
	100,000	留学生派遣の助成 100,000
	120,000	インターナショナルCアワーの助成 120,000
	210,000	留学生交流イベントの助成 210,000
	100,000	図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000
	1,000,000	大学広報等への支援 女満別空港広告看板掲出料の助成 1,000,000
	100,000	屈斜路研修所優待利用の助成 100,000
	北見ぼんちまつり 参加への支援	178,200
予 備 費	2,429,558 円	就職支援助成(地元合同企業説明会等) 500,000円
合 計	6,107,758 円	

# K I Tげんき会 平成28年度以降の事業について (案)

## 平成26年度以降の事業

- 学生表彰
  - ・地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生をK I Tげんき会会長が表彰
- 著名人講演会 → (廃止)
- 地域貢献活動
  - ・ぼんちまつり参加
  - ・留学生派遣
- 屈斜路研修所優待利用 → (廃止)
- 地域における国際交流支援
  - ・インターナショナルCアワー助成
  - ・留学生交流イベント助成
- 参考図書購入の助成
- 女満別空港広告看板掲出助成

## 平成28年度以降の事業 (案)

- 学生表彰
  - ・地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生をK I Tげんき会会長が表彰
- 地域貢献活動
  - ・ぼんちまつり参加
  - ・留学生派遣
- 地域における国際交流支援
  - ・インターナショナルCアワー助成
  - ・留学生交流イベント助成
- 参考図書購入の助成
- 広報活動経費
- 就職支援助成
- 海外研修プログラム助成

- ・大学院学生 (日本人) 奨学金
- ・語学研修プログラム助成

大学負担

- ・大学院学生 (日本人) 奨学金

# 北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
  - 一 役員選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。
- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。
- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。
- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

#### 附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。